

## ウクライナの債権者グループ声明文（仮訳）

我々、ウクライナの債権者グループは、ロシアによる不当で、いわれのない、不法な侵略戦争に対して、自らを守るウクライナに対する連帯と支援を表明する。

我々は、2022年8月1日以降、国債保有者への支払期限が到来した債務支払を猶予し、支払期限を延長する旨のウクライナからの同意要請に係る本日の公表に留意する。

このような異例な状況において、また、ウクライナのこれまでの債務支払の遵守に係る模範的な実績を認識し、ウクライナの債権者グループのメンバーは、この同意要請を支持し、国債保有者がウクライナの要請に同意することを強く奨励する。また、ウクライナの債権者グループのメンバーは、GDP 連動ワラント債の条件のうち特定の支払メカニズムを調整することにつき、本日、ウクライナからの同意要請が同時に公表されたことに留意し、ワラント債保有者がこれらの要請に同意することを奨励する。

国債保有者及びワラント債保有者によるウクライナの提案の承認は、ウクライナ政府及び国民への大きな支援となるだろう。

この観点から、我々、ウクライナの公的二国間債権者は、我々の債権について、2022年8月1日から2023年末まで、1年の追加の可能性も見据えつつ、債権国の国内法と整合的な形で、支払期限が到来した債務のウクライナからの支払を、協調して猶予する。

我々はまた、全ての他の公的二国間債権者が、ウクライナと債務支払猶予に迅速に合意することを強く奨励する。

我々は、引き続き緊密に連携し、IMF 及び世界銀行の支援を受けながら、状況を評価していく。

背景説明：ウクライナの債権者グループは、カナダ、フランス、ドイツ、日本、英国、米国を含む。オブザーバーは、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、ブラジル、デンマーク、フィンランド、アイルランド、イスラエル、イタリア、韓国、オランダ、ノルウェー、スペイン、スウェーデン、スイスを含む。